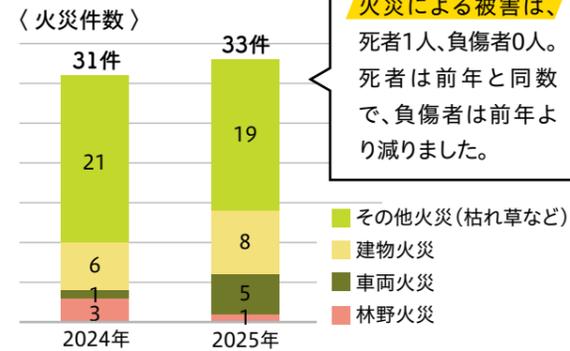


みんなで守ろう “いのち”と“限りある資源” 2025年の件数を受けて 大切なお願い

火災は前年比2件増!

火災は33件で、2024年より2件増えました。出火原因は、「たき火(ごみ焼きなど)」「火入れ(枯れ草焼き)」「放火・放火の疑い」の順に多くなっています。

たき火や枯れ草焼きが原因の火災は、毎年多く発生しています。特に空気が乾燥する時期は、野山や枯れ草に火が燃え広がりがやすく、小さな火でも風で一気に広がる場合があります。屋外で火を取り扱うときは、消火の準備を行い、十分注意しましょう。



今年から「林野火災注意報・警報」の運用が始まりました。日頃から火の取り扱いに気を付け、火災を起こさないようにしましょう。警報発令時に「火の使用の制限」に違反した時は、消防法により30万円以下の罰金または拘留が科される場合があります。

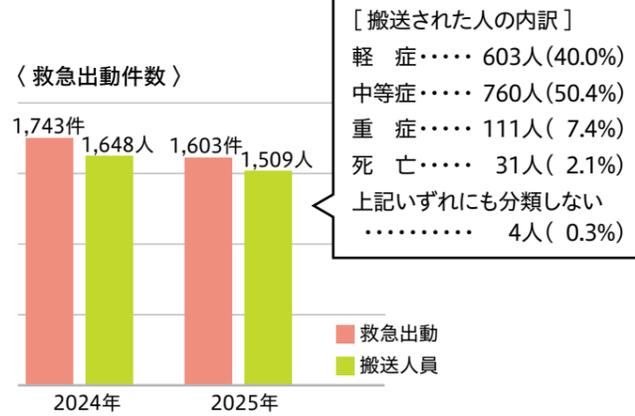


予防課 指導係 甲斐さん

救急車の適正利用を!

救急出動件数は、2020年以來5年ぶりに減少しました。一方で、搬送された人のうち、入院が必要ない「軽症」が約4割を占めています。救急車や救急医療は、命を守るための大切な“限りある資源”です。

限りある救急車を、必要な人に確実に届けるため、救急車の適正利用にご協力をお願いします。



救急車を呼ぶか迷ったら #7119

急な病気やけがで、救急車を呼ぶべきか迷ったときは、医師や看護師に電話で相談できる「#7119」を利用してください。緊急性の判断や、受診の目安を教えてください。

子どもの体調が心配なときは #8000

夜間や休日に、子どもの急な発熱や体調不良で不安なときは、小児救急電話相談「#8000」へ。小児科医師や看護師が、家庭での対応方法や受診の目安をアドバイスしてくれます。

安芸高田市消防本部・安芸高田消防署 ☎42-0119・お太助フォン 42-3952 📠47-1191



安芸高田 歴史紀行

あきたがた
れきしきこう

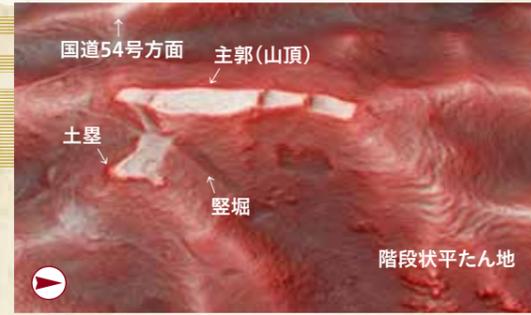


歴史民俗博物館 副館長 秋本 哲治

シリーズお城拝見 | 第99回

根野の城

(八千代町上根・下根・向山)



阿賀城の赤色立体地図鳥瞰図(東側から)

根野地区の中世
中世のこの一帯は「禰村」と呼ばれ、1352年に禰城(阿賀城か?)にこもった毛利氏を武田氏が攻撃し、落城しています。室町期は禰村は武田氏の管理下にあったようですが、戦国期には毛利氏の所領となり、家臣の井上氏(就在・元満・元方)が本拠としたほか、一部が田中氏、栗屋氏、飯田氏などへも給地されています。戦国期の記録に禰村での合戦の記録は無く、比較的平穏だったと思われます。なお、上根峠は江戸時代に開通しており、戦国期には往来できなかったようです。



根野地区城跡位置図(地理院地図Vectorに加筆)

安芸高田市の南西端、八千代町の上根・下根・向山には、1885年から1955年まで根野村がありました。今回はこの地域に残る城跡を紹介しましょう。



B 末石城遠望(西側から撮影)

根野地区の城跡
根野地区で確認されている城跡はA~Dの4か所です。隣の刈田地区(土師・勝田・佐々井)の11か所に対して比較的城跡が少ない地域です。下根のA阿賀城は220mに及ぶ高い比高と広い城域でこの地域の拠点の城と考えられます。上根のB末石城は、集落に隣接する丘陵上の城跡で、井上氏の城とも伝われます。向山のC源城とD谷城(峠の城)は、いずれも根の谷川を望む山上の小規模な城跡です。



D 谷城遠望(西麓県道から撮影)

井上氏と根野
井上氏の本拠城は、その規模から阿賀城と考えられ、同じ下根の亀山神社には井上氏の棟札が残ります。1588年には井上元方が毛利輝元から「万福寺」の普請を命じられています。江戸後期の『芸藩通誌』には「万福寺」は上根の廃寺とあり、絵図に位置が記されています。一方、秀吉により1585年に伊予を追われた河野氏の一部が安芸に移り住んだ地が上根といわれ、河野氏と万福寺の関係が推測できます。